

昨年度のアンケート結果

- ・医療従事者からの視点だけでなく多職種の見点による事例紹介を聞きたい
- ・困難事例におけるチームでの動き方について話を聞きたい
- ・もっとたくさんの事例を知りたい
- ・認知症や精神疾患等意思疎通や自己決定が難しい場合のACPについて
- ・二号保険者や難病患者など高齢者以外の事例も聞きたい



**令和3年度は引き続き医療介護従事者を対象とし、多職種連携を意識しながらスキルアップを目指す。**

実施概要（案）

各職種からの事例紹介を聞き、自分以外の職種に抱いていたイメージとのGAPや多職種で連携しながらACPをやっていくために今後意識すべきことを学ぶことのできる機会とする。

事前課題では、研修で取り上げる事例について、「自分ならどう対応するか、他の職種とどのように連携するか」という点を中心に、主体的にACPの実践に取り組むことをイメージできるようなアンケート形式を実施する。（案については、資料7参照）

それを踏まえてライブ配信（人数によってはアーカイブも想定）を視聴し、今の自分の考え方と実際の取組のGAPやずれについて認識し、現場での実践に活かすことができるようになることを目標とする。

カリキュラム（事務局案）

	内容	目的
事前講義	ACPの基礎について昨年度と同様に基礎的な講座を実施	初めて受講する方に対しても、共通した基礎知識を身に付けてもらえるようにする。
事前課題 (アンケート)	多職種で連携してACPを実施する場合、自分だったらどのようなことに気を付けるか等、講師が発表する事例概要に沿って考えるアンケート形式にて実施。	受講前に、多職種でのACP実践への考え方を深められるようにする。
ライブ配信	<p>【第1部 事例発表】 医療職、リハ職、福祉職による3～4事例紹介（医師（在宅医）/看護師（病棟or訪問看護師）/ケアマネージャー/言語聴覚士等） ★うまくいかなかった事例や少し後悔のある事例を共有する。 ★資料については、昨年度に引き続きマトリックスを活用した流れを継続。 ★わたしの思い手帳書き込み編を使って発表する。</p> <p>【第2部 パネルディスカッション】 ・気を付けたポイントと後悔したポイント ・自分以外の他職種にサポートしてほしいポイントについて意見交換。 パネリストは各事例に関わったチームのメンバーを想定。</p>	<p>受講者が事前課題を通じて深めていた自分の考えとの違いや足りない部分、大切にすべきポイントについて感じてもらう。</p> <p>また、わたしの思い手帳書き込み編を活用した資料を活用することで、受講者には、より実際に活用する時にイメージをもっていただけるようにする。</p>

## 御意見いただきたいポイント

### (1) 事前課題【資料7参照】の方向性について

#### 《事務局意見》

- ・ アンケート形式とし、受講者が回答しやすい項目とし、事前課題の負担が大きくなりすぎないことを念頭に設定
- ・ 事例を踏まえて、実際に自分が動く際の流れを意識できるような順番で項目を配置
- ・ 本人の思いを踏まえ、チームでACPを共有していく、実践していくプロセスを考える内容とする
- ・ 受講者の活用及び提出は任意とし、事前に提出されたものは、適宜パネルディスカッション等で活用する

### (2) 事例発表の内容と発表者について

#### 《事務局意見》

- ・ アンケートから出ていたように、医療職側の視点だけでなく、介護福祉職側からの視点の事例発表を実施  
(案) ①在宅医→入退院を繰り返している事例 ②ケアマネジャー→認知症 ③言語聴覚士→脳血管性疾患(軽度肢体不自由?)
- ・ リハ職については、事例は少ないかもしれないが、言語聴覚士の立場から摂食嚥下の視点、終末期の食事に対する考え方を踏まえた事例を発表していただけると、地域で活躍する方々にとって、より最期を在宅で過ごせるイメージがもちやすいのではないかと
- ・ 昨年からの流れが途切れないよう、昨年の西田先生と川崎先生の資料同様マトリックスを活用した考え方を活用し、地域での定着を目指す
- ・ わたしの思い手帳の活用をより促進していくためにも、事例発表の際に実際に本人の意向や話し合った内容を書き込み編に落とし込んで資料として活用する。本人が自分で書き込んでみたものをチームで肉付けしていくプロセスを示すことができれば、より実際に活用するイメージを受講者にもっていただけるのではないかと。

### (3) パネルディスカッションの登壇者の選任と話し合うトピックについて

#### 《事務局意見》

- ・ 事例発表の内1事例を取り上げ、実際にその事例で一緒に動いた方々に御登壇いただき、事例を振り返って意見交換をしていただく。
- ・ ACPという性質上、振り返りの際には、本人が不在となることはやむを得ないので、支援者間で意見交換と今後につなげていくための話し合いというものを受講者にはみていただけるのではないかと。

## 今後のスケジュール (案)

### ～11月 第2回検討部会開催

#### 【議事(案)】

- 1 事例発表者の選任について
- 2 パネルディスカッション登壇者の選任について
- 3 研修の実施方法について

### 12～1月 委託契約等

#### 《事務局側作業》

- ・ 研修実施委託契約の締結
- ・ 受講者募集
- ・ 事前講義動画の撮影

### 2～3月 研修開催

- ・ 事前講義動画配信(約1か月)
- ・ ライブ配信講義開催